

環境経営レポート 2023年度版

活動期間：2023年7月1日～2024年6月30日

2024年7月31日発行

作成者 比嘉 崇史

武尊技建工業株式会社

本社〒132-0035

東京都江戸川区平井五丁目49番6号

TEL:03-3610-8678 FAX:03-3610-8677

E-mail:hotaka-g@ak.wakwak.com

目 次

1. 組織の概要と対象範囲	P.3
2. 環境経営方針	P.4
3. 環境経営目標	P.5
4. 環境経営目標とその実績	P.6.7
5. 実施体制図	P.8
6. 環境経営計画の取組み結果と次年度の取組み内容	P.9
7. 環境関連法規等の順守状況の確認及び評価の結果	P.10
8. 代表者による全体評価と見直し	P.11

1. 組織の概要と対象範囲

事業所名	武尊技建工業株式会社
代表者	代表取締役 青木 直敬
所在地 本社	〒132-0035東京都江戸川区平井五丁目49番6号 TEL03-3610-8678 FAX03-3610-8677 E-mail:hotaka-g@ak.wakwak.com
環境管理責任者・連絡担当者	比嘉 崇史 TEL 03-3610-8678 E-mail:hotaka-g@ak.wakwak.com
事業の概要	官公庁の建築・土木工事 1.総合建設業 2.建築土木企画設計 3.営繕工事 4.前号に付帯する一切の業務 「公共施設・共同住宅・特殊建築(古民家改築)」
事業の規模	2023年度 売上高 6億4100万円 従業員数 本社10人 本社建物 564.85㎡ 資材置場 128.4㎡
設立年月日	1994年6月1日
建設業許可番号	建築:特22-第101480号 土木:般22-第101480号
建設業許可年月日	2015年9月5日
特定建設業 土木	土木・ほ装・水道施設
特定建設業 建築	建築・大工・左官・とび土工・屋根・タイルれんがブロック・鋼構造物 鉄筋・板金・ガラス・塗装・防水・内装仕上・熱絶縁・建具
対象組織	本社 :東京都江戸川区平井五丁目49番6号 資材倉庫:東京都江戸川区平井六丁目41番9号
対象活動	建築・土木工事業 認証・登録 0009970

全組織・全活動を対象としている。

2.環境経営方針

環境理念

武尊技建工業株式会社は建設工事業の事業活動を通して、地球の為に
なり、社会の健康を考えたエコ社会を構築する手助けをする為に環境負荷
を低減し、資源の再利用を積極的に推進して、元気な地球を取り戻す為の
継続的な努力を行ってまいります。

活動指針

- 1 環境経営に積極的に取り組む為に、環境経営システムを構築し、継続的
な環境負荷の低減に取り組めます。
- 2 環境への取り組みと課題とチャンスとを踏まえとして、特に次の事項に取り組めます。
 - ① 使用する燃料や電力を節約し、二酸化炭素排出量の削減に努める
 - ② 建設廃材の発生抑制に努め、分別の徹底により、リサイクル資源の
増加に努める
 - ③ 使用する用水の総使用量の削減に努める
 - ④ 塗料及び接着剤等の化学物質の適正管理に努めます。
 - ⑤ グリーン購入を推進
 - ⑥ 環境に関する法律・規則・協定を遵守します。
 - ⑦ 地域社会とのコミュニケーションを大切に、地域と共生しての環境保全
の推進に努めます。
- 3 環境経営システムの内容を、全社員に周知徹底し、環境に対する意識の
向上及び積極的な推進に努めます。
- 4 地域での災害時の防災活動に対して積極的に参画いたします。

2020年7月1日

制定

武尊技建工業株式会社
代表取締役 青木 直敬

3. 環境経営目標(中期環境経営目標)

当社は、次の目標を掲げて環境活動に取り組めます。
基準値を、2022年度から2024年度までに1.5%(毎年0.5%)の削減を目標にする。

項目	設定基準値 (※4)	2023年7月 ~ 2024年6月		前年度実績 2022年7月 ~2023年6月 (-0.5%目標)	次年度目標 2024年7月 ~2025年6月 (-1.5%目標)
		目標 (-1.0%減)	実績		
事務所 電力使用量	34,200 kwh	33,858 kwh	31,679 kwh	30,680 kwh	33,687 kwh
現場 電力使用量	3,968 kwh	3,928 kwh	4,273 kwh	3,998 kwh	3,908 kwh
倉庫 電力使用量	2,040 kwh	2,020 kwh	1,451 kwh	1,907 kwh	2,010 kwh
合計	40,183 kwh	39,806 kwh	37,403 kwh	36,585 kwh	39,605 kwh
ガソリン	6,429 ℓ	6,516 ℓ	7,006 ℓ	6,605 ℓ	6,483 ℓ
事務所 都市ガス	1 m ³	0.98 m ³	0.92 m ³	1 m ³	0.97 m ³
二酸化炭素排出量 合計	34,332 kg-CO ₂	33,989 kg-CO ₂	33,998 kg-CO ₂	32,680 kg-CO ₂	33,817 kg-CO ₂
事務所 水使用量	120 m ³	118.8 m ³	107 m ³	99 m ³	118.2 m ³
現場 水使用量	241 m ³	239 m ³	280 m ³	272 m ³	237 m ³
倉庫 水使用量	36 m ³	35.6 m ³	11 m ³	26 m ³	35.4 m ³
合計	397 m³	393 m³	398 m³	397 m³	391 m³
現場廃棄物	186 t	184 t	177 t	193 t	183 t
苦情	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件

※1 当社の使用する塗料及び接着剤は、客先の仕様書により使用量が定められているため削減目標とはしない。

※2 搬入・使用は下請け業者の為、材料倉庫に鍵をかけて保管しています。

※3 購入電力の排出係数は、東京電力の2016年調整後排出係数(0.474kg-CO₂/kWh)を使用している。

※4 基準値、2019年度から2021年度の平均値としました。

4.環境経営目標とその実績

活動指針	環境目標			実績 (達成率)	評価	実施状況
	内容	今年度目標	実績値			
建設事業活動を通じて、二酸化炭素の発生抑制、排出削減に取り組みます。	事務所 電力	33,858 kwh	31,679 kwh	107%	◎	節電活動は継続的に実施 事務所・倉庫 低減 現場 前年より受注増加により使用量増
	現場 電力	3,928 kwh	4,273 kwh	92%	△	
	倉庫 電力	2,020 kwh	1,451 kwh	139%	◎	
	電力使用量	39,806 kwh	37,403 kwh	106%	◎	
	都市ガス使用量	1 m ³	1 m ³	107%	◎	ガスの使用を軽減する活動は継続的に実施
	ガソリン消費量	6,516 l	7,006 l	93%	△	前年より受注増加のため消費量増加
	二酸化炭素排出量	33,989 kg-CO ²	33,998 kg-CO ²	100%	○	活動の成果が実った。
建設事業活動を通じて、廃棄物の発生抑制、排出削減に取り組みます。	産業廃棄物の削減、リサイクルの促進	184 t	177 t	104%	◎	分別・リサイクル徹底を継続的に実施

4.環境経営目標とその実績

活動指針	環境目標			実績 (達成率)	評価	実施状況
	内容	今年度目標	実績値			
建設事業活動を通じて、水使用量の抑制、削減に取り組みます。	事務所 水使用量	118.8 m ³	107 m ³	111%	◎	節水活動を継続的に実施 事務所・倉庫は低減 現場 前年より受注増加のため使用量増
	現場 水使用量	239 m ³	280 m ³	85%	△	
	倉庫 水使用量	35.6 m ³	11 m ³	324%	◎	
	水の総使用量を削減する。	393 m ³	398 m ³	99%	○	
塗料及び接着剤等の化学物質等の適正管理に努めます。	化学物質の適正管理	入在庫管理を100%実施	100%	100%	○	適正管理意識による活動(数量の把握と確認、保管状況の確認)ができた。
環境を配慮した施工管理	苦情なし	0件	0件	100%	○	環境に配慮して施工
事業活動において適用される環境法規制等を遵守します。	環境法規制等を遵守	遵守	遵守	100%	○	定期的な遵守状況の確認ができた。
従業員一人ひとりが環境保全意識を高めつつ、環境経営システムの実施、運営に全員参加で取り組みます。	運用システムの全社的展開	環境目標、環境活動計画の策定への従業員の参画。	環境教育実施 1回	100%	○	環境目標、環境活動が周知ができ、従業員に再認識させる活動ができた。
		地域社会とのコミュニケーション・環境保全の推進	会社近辺の清掃実施	100%	○	地域の環境保全ができた

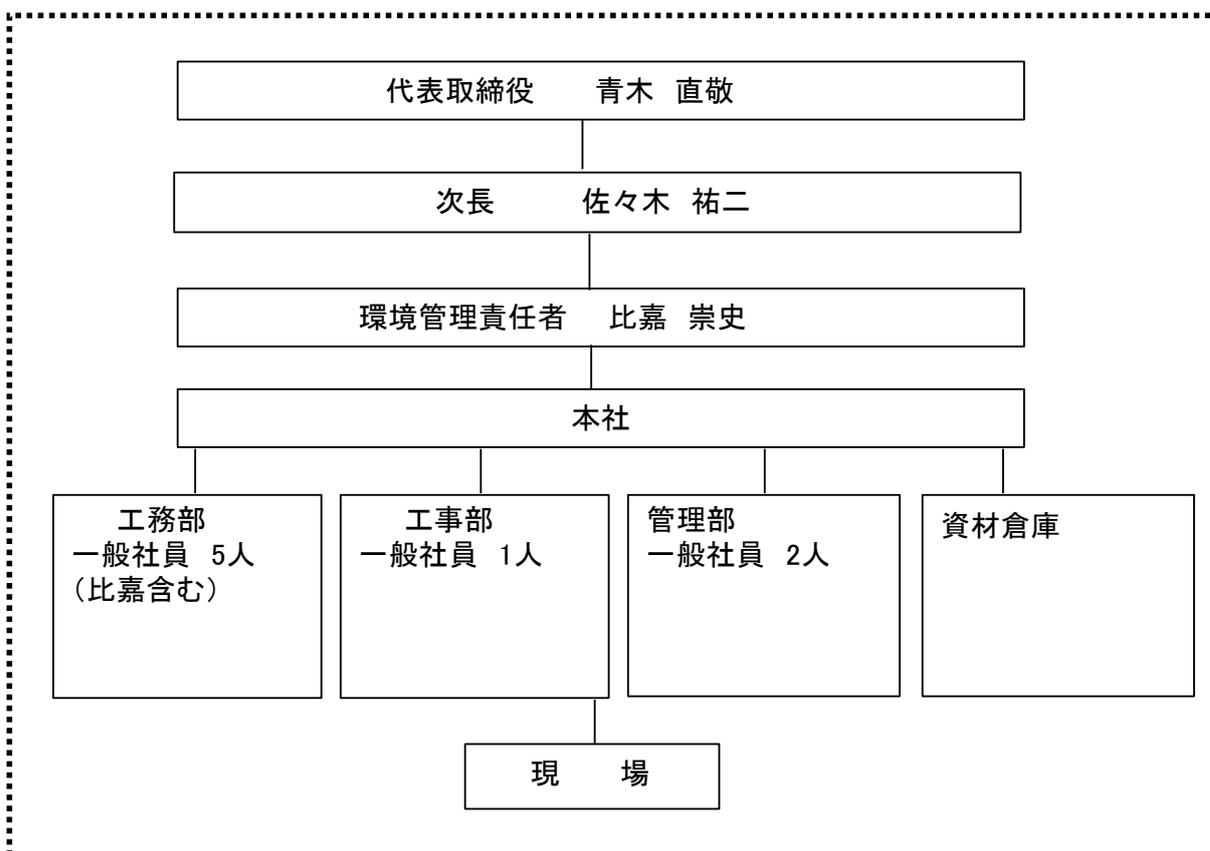
評価・・ ◎ 101%以上

○ 96~100%

△ 70~95%

× 70%未満

5.実施体制図及び役割・責任・権限表



	役割・責任・権限
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> ・環境方針の制定 ・全体の評価と見直し ・環境経営全般(責任者を任命する)の権限 ・経営資源の提供 ・経営に於ける課題とチャンスを確認にする ・経営に於ける課題と評価を確認にする
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・エコアクション21の文書作成及び保管 ・代表取締役に活動結果の報告 ・環境マネジメントシステム全体に関する運営及び周知する権限
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境方針の確認及び理解 ・環境マネジメントシステムの実施

5. 環境経営計画の取組み結果と次年度の取組み内容

環境活動計画		推進責任者 /担当者	取組み結果	評価	次年度の取組 内容 ◎は重点活動
事務所・現場 CO2排出量の削減	① 不要照明の消灯の徹底 (電気使用手順書に基づく)	比嘉/全員	社員全体の意識が上がり徹底できた。 一部の部屋に人感センサー採用	◎	○
	② 不要時に空調を使用しない (電気使用手順書に基づく)	比嘉/全員	社員全体の意識が上がり徹底できた。 消し忘れ防止のため、自動タイマーを活用	○	○
	③ 不要時のPC 電源のオフ (電気使用手順書に基づく)	比嘉/全員	社員全体の意識が上がり徹底できた。 自動スリープ設定を活用	○	○
	④ エアコンの温度管理の徹底 (電気使用手順書に基づく)	比嘉/全員	エアコン設定温度を通常時、夏季28℃、冬季 20℃とし設定を行ったが、気温変化に左右され る時期があった。	△	◎
	⑤ エコドライブの徹底 (ガソリン使用量節約手順書に 基づく)	比嘉/全員	アイドリングストップ車を主に使用した。	○	○
	⑥ エアコンの簡易点検 (エアコン簡易手順書に基づく)	比嘉/全員	フロン類漏えいの監視ができた	○	○
事務所・現場 廃棄物排出量の 削減	① ごみの分別の徹底	比嘉/全員	各フロアの分別用ゴミ箱の不足等を見直して、 分別を徹底できた。	○	○
	② 裏紙使用の推進	比嘉/全員	裏紙使用できるものと廃棄必要なものを 分別できるように容器を用意した。	◎	○
	③ 両面・集約印刷の推進	比嘉/全員	社員全体の意識が上がり徹底できた	○	○
事務所・現場 水使用量の削減	① バルブの調整による 適正水圧の管理	比嘉/全員	バルブ調整による適正水圧の調整を行い、 また現場水栓に節水コマ設置の上、排水量の 削減に努めた。	○	○
	② 水使用量の削減 節水の徹底と啓蒙	比嘉/全員	現場件数が増加したため、使用量増加 現場水道バルブを退室時に閉栓するよう徹底	△	◎
環境経営システム の実施、運営の全 社的展開	環境目標、環境活動計画の策 定への従業員の参画。	比嘉/全員	社内会議で理解を深めた。 目標達成の意識が高まり、活動が徹底出来 た。	○	○
	地域社会とのコミュニケーシ ョン・環境保全の推進	比嘉/全員	環境保全に留意できた。	○	○
◎ 十分達成できた ○ 達成できた △努力が必要 × 達成できなかった					

6, 環境関連法規等の順守状況の確認及び評価の結果

評価日 2024年2月1日

対象期間 2022年7月1日～2023年6月30日

弊社の順守しなければならない環境関連法規等には、

廃棄物処理法(産業廃棄物管理票交付等状況報告書提出)

建築基準法

労働安全衛生法

大気汚染防止法

騒音規制法

振動規制法

建設リサイクル法

小型家電リサイクル法

家電リサイクル法

自動車リサイクル法

フロン排出抑制法

大気汚染防止法

東京都廃棄物条例

江戸川区廃棄物の処理及び再利用に関する条例 があります。

これらの順守状況については定期的に自主チェックして確認しています。

環境関連法規等の、違反の指摘及び関連する訴訟は、過去3年間ありません。

7.代表者による全体の評価と見直し

見直し日時	2024年6月24日(火) 13:00~15:00	場所	事務室
参加者	環境管理責任者 比嘉 崇史 代表取締役 青木 直敬		
見直し情報	環境管理責任者	代表者	
①環境関連法規制等一覧表 遵守状況のチェック結果	事業活動に関連する環境関連法規の順守状況の再確認を行い、また最新の環境関連法規の確認を行った。	引き続き、環境関連法規の遵守及び最新の環境関連法規の確認すると同時に周知徹底を行うこと。	
②環境経営目標の達成度	1年間の活動期間で、今年度は目標達成度が高かった為、より一層の環境負荷軽減に取り組む。	2023年度での、活動経営目標の達成度が高かった為、より一層環境負荷軽減に取り組むこと。	
③環境経営計画の実施状況	1年間の活動期間で、環境経営計画に沿って実施できた。	引き続き、環境経営計画に従って計画を実施してください。	
④問題点の是正・予防処置の状況	1年間の活動期間で、是正処置・予防処置が必要な事態はなかった。	引き続き、是正処置・予防処置の発生がないようにしてください。	
⑤外部からの苦情の有無	1年間の活動期間で、外部からの苦情はなかった。	引き続き、外部からの苦情等がないように取り組んでください。	

代表者による 変更の必要性の指示	①環境方針	変更の必要はない。
	②環境目標	現場増加のため、現場電気・水道の使用量の目標値を見直す。
	③環境活動計画	変更の必要はない。
	④環境経営システム	変更の必要はない。
	⑤実施体制について	変更の必要はない。

環境管理責任者	報告 年・月・日
比嘉 崇史	2024年 7月 3日